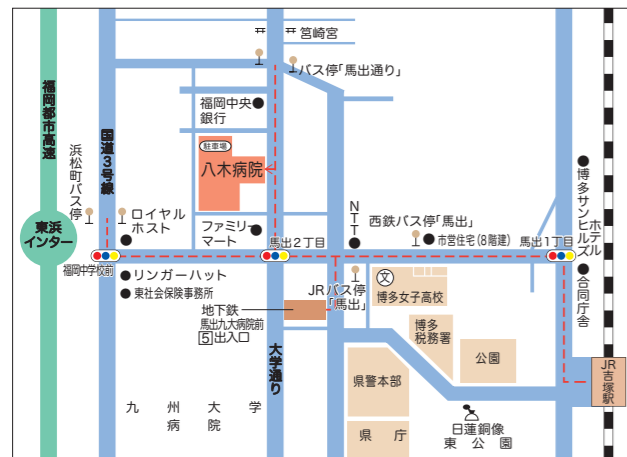


外来診療担当医のご案内

午後は、手術のため診察時間が変更する場合があります。

診療科	月	火	水	木	金	土	
外科	AM	谷井 貢	三好 修 (予約は10:30迄)	谷井 貢	三好 修	谷井 貢 (下肢静脈瘤含む)	後 信
	PM			三好 修	三好 修	谷井 貢 (下肢静脈瘤含む)	
整形外科	AM	山口智太郎	原田 洋	原田 洋	山口智太郎	原田 洋	山口智太郎
	PM	原田 洋			山口智太郎	原田 洋	
脳神経外科	AM	三谷 昌光	三谷 昌光		三谷 昌光	三谷 昌光	
	PM			有村 公一 (第3以外) 奥田 智裕 (第3)			
皮膚科	AM						
	PM	諫山 加奈 (第2・4・5) 村田 真帆 (第1・3)					
一般内科	AM	松藤 英正	豊田 一弘	平峯 智	牛尾 恭輔 (第2・3以外) 松藤 英正	松藤 英正	松藤 英正 (第2以外)
	PM	有馬 久富	松藤 英正	佐々木 康作	牛尾 恭輔 (第2以外) 松藤 英正	戸川 温 松藤 英正	
循環器内科	AM	戸高 浩司	今林 都咲		西坂 麻里		西坂 麻里 樽木 晶子
	PM	戸高 浩司		西坂 麻里			
呼吸器内科	AM						
	PM		二宮 利文				
腎・高血圧・ 脳血管内科	AM					中村 晋之	
	PM		中村 晋之				
糖尿病内科	AM			村上 綾菜		秀島 早紀 (第2・4)	
	PM	小松 志保		村上 綾菜			
神経内科	AM			篠田 茉莉			
	PM						
漢方	AM					松藤 英正	
	PM						
消化器 (内視鏡)	AM	江崎 珠里	松藤 英正	矢野 愛恵	木村 勇祐	佛坂 孝太	
	PM		畑 佳孝				
人間ドック (健診)	AM	金澤有紀子	金澤有紀子	坂上 香苗	金澤有紀子	金澤有紀子	
	PM	金澤有紀子 (16:30迄)	金澤有紀子 (16:30迄)	坂上 香苗 (15:30迄)	金澤有紀子 (16:30迄)	金澤有紀子 (16:30迄)	
救急	AM	黒田 亮太	黒田 亮太		黒田 亮太	黒田 亮太	
	PM	黒田 亮太	黒田 亮太		黒田 亮太	黒田 亮太	



診療科目

外科・消化器外科・整形外科・リウマチ科・脳神経外科・救急科・
内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・脳神経内科・漢方内科・
リハビリテーション科・皮膚科

ベット数

127床 (一般病床60床、障害者病床33床、医療療養病床34床)

受付時間 急患は24時間受け付けます。

平日 8:30~12:00
13:00~16:30
土曜日 8:30~12:30

検査・治療のご依頼は地域連携室へ

TEL: 0120-651-898
FAX: 0120-808-565



ほほえみ No.15

医療法人八木厚生会 八木病院

2022年2月号



撮影場所: 福岡県福岡市南区・九州がんセンター 写真提供: NPO法人癒し憩いネットワーク

八木病院理念

恕

当院の理念である恕とは、孔子が「『仁、礼、忠、恕』の心をもって事を修めるべし」と説いた教えの中の1つで、「己の欲せざるところ、人に施することなかれ」—相手の立場に立ち、相手を思いやる心それが「恕」です。これは同情する心と違います。人間には自然治癒力といって自分で病気を治そうとする力があります。この自然治癒力はいろいろなストレスによって抑制されます。私達医人は、この力を最大限に引き出せるよう最善をつくさねばならないと考えております。

基本方針

良質・安全な医療の提供

1. 患者の皆様から親しまれ、信頼される病院にするため、良質・安全な医療の提供に心がけます。
2. 常に笑顔と優しさを忘れず、迅速、円滑に対応します。
3. 救急病院として、24時間いつでも診療します。
4. 病病、病診連携を深めて地域医療の充実・発展に貢献します。
5. 地域の皆様方の健康を守るため、健康相談に応じます。
6. 患者の皆様の人権を尊重し、理解と納得の上で診療をはじめます。

旧年中は地域の皆様、先生方には 当院に多大なるご厚情を賜り心より御礼 申し上げます。

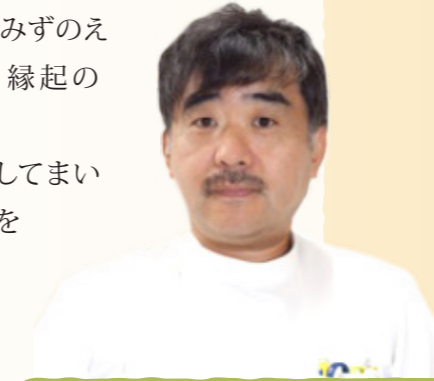
2021年は、新型コロナウイルスが猛威をふるい、帰省や旅行、初詣もできない「巣籠り」状態で幕を開けました。その後いったん落ち着きかけたものの、第4波、第5波が次々とやって来しました。そして現在、ようやく落ち着きかけた後、第6波がまた押し寄せ、私達の生活は逆戻りとなりました。

ワクチンに希望を持ち、感染対策に心がけてきた日々ですが、まだしばらく新型コロナとの戦いは続くでしょう。しかし、これを嘆いては前に進みません。私たちはこれを経験しました。そして次に繋げなくてははいけません。「またか」と嘆くより、「次はこうしよう」とスタッフ一同が考え、行動し、成長しています。

2022年は寅（とら）年です。本来の干支でいう壬寅（みづのえとら）。調べてみると、<成長> や <始まり> という縁起のいい言葉が出てきます。

当院の長い歴史の中で、これまでも様々な危機に直面してまいりましたが、その度に地域住民の皆様、そして地域医療を支えていただいております先生方のお力添えがあったからだと感謝しております。八木病院はこれからも皆様のお役に立てる病院として邁進いたします。

今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



病院長
山口 智太郎
やまぐち ともたろう

新型コロナワクチン接種に尽力いたします

昨年2月17日より国内で初めてのワクチン接種が開始され早1年となります。当院でも、職員・近隣の医療従事者・職域接種・そして地域住民の方への接種を行ってまいりました。

当初は、接種券もまだ届いておらず、国の方針も未確定の状態でしたが、接種が始まり段々と当院での形ができてまいりました。黒田医師が陣頭に立ち、当院の全ての医師、看護師、職員がコロナ対策において重要な一つである、ワクチン接種に尽力しました。

まずは、医療に携わる近隣の医療従

事者の方々、介護関係者、施設入居者と広がり、地域住民の方、そして職域接種と段階を経てアナフィラキシーショック等の事故も無く2回の接種を終えました。期間は半年以上にも及ぶものでした。

一番大変だったのが、ワクチンが余った場合の対応です。ワクチンを無駄にしてはいけない、という使命感からわれワクチン廃棄0を目標に奮闘しました。

そして、1月から3回目の接種が始まりました。いつまで続くのか現段階では

分かりません。しかし、明るい未来が待っていると信じ、私たちはこれからも全力で邁進いたします。



私が救けるしかない！

看護師 古賀 一美

車中出産の分娩に立ち会って

令和3年10月25日の17時過ぎ、救急隊より1本の電話が入りました。

「妊婦の方から救急要請があり、八木病院の近くの駐車場に車を止められておられます。救急車は今現場に向かっていますが、もし、様子を見に行けるようであればお願いします。」と通報を受けた医事課スタッフから連絡を受けました。

当時、時間外で外来では急患対応に追われていたのですが、不安でいっぱいだろうと思い業務を他の人をお願いし、走って現場に向かいました。状況が把握できないまま駆けつけると、陣痛発作で運転できなくなり車を停車させた状態でした。私自身、産婦人科勤務の経験が無く、病院へ応援を呼びに行こうと思いましたが、す

でに破水しており、経産婦であった為、現場を離れる事は危険だと判断し、「私が救けるしかない！」と覚悟を決めました。応援を呼ぶ間もなく赤ちゃんの頭部が見え始めた為、お母さんを励まし、一緒に呼吸していました。その時はただ必至でした。間もなく無事赤ちゃんを取り出すと、車内に元気のいい赤ちゃんの産声が響きました。この時少しだけほっとしました。救急車到着までの数分間がとても長く感じ、その間お母さんと赤ちゃんに声を掛け続けました。救急車が到着し、1台目に赤ちゃん、2台目にお母さんが搬送されました。

それから数日後、お母さんが退院され私を訪ねて来られました。「あの時、看護師さんの顔を見たら安心しま

した。ありがとうございました。子供も元気で明日退院します。」と感謝の言葉をいただきました。

赤ちゃんが私の手の中で体を震わせ元気な産声をあげてくれた感動は、私の人生において忘れられない貴重な体験です。母子共に元気であった事に心から感謝いたします。



病院では古賀看護師の立派な行動に対し「病院長特別表彰」を授与いたしました。

transmit information

福岡からの
発信XIII

ウメの四季



八木病院 顧問
牛尾 恭輔
九州がんセンター 名誉院長



梅は冬の寒風にさらされ、寒梅は雪に揺れながら、冬芽が芽吹き始めます。やがて蕾はほころび、陽光を受けて次第に膨らんで行き、春の百花に先駆けて咲きます。その姿は凛とした気品に溢れています。また、一輪一輪の美しさと、希望を与え、本格的な春の訪れが近いことを告げる花です。花言葉は「上品」「高潔」「忍耐」「忠実」などです。そして花の時期が過ぎると、小さな緑色の実を付け大きくなって行きます。これらの実たちは、表面は産毛に似たもので覆われ、色も黄色からピンク色へと移り変わって……、球の様に育って行きます。実たちはシロップやアルコールに漬けられて、梅酒となり人々の口に運ばれ、楽しめます。